

令和6年度病害虫防除技術情報(第4号)

和歌山県農作物病害虫防除所

アカマルカイガラムシの防除を徹底しましょう

アカマルカイガラムシの発生が令和5年以降多いため、発生ほ場では越冬時期のマシン油乳剤による防除を行いましょう。

1. 対象作物：カンキツ
2. 対象病害虫名：アカマルカイガラムシ
3. 対象地域：県北部、県中部
4. 発生量：やや多
5. 発生状況：

県内カンキツほ場における令和6年10月の発生ほ場率は10.9%(平年3.9%)、被害果率は1.8%(平年0.8%)であった(表)。

表 アカマルカイガラムシの発生ほ場率および被害果率

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平年
発生ほ場率(%)	0	1.5	6.2	1.5	1.5	4.6	6.2	0	0	17.2	10.9	3.9
被害果率(%)	0	0.1	1.7	0.1	0.3	0.7	0.9	0	0	3.9	1.8	0.8

※調査ほ場数：H26～R2は65、R3～R6は64 調査時期：10月 平年：H26～R5の平均
調査対象：カンキツ果実

6. 防除上の注意事項

- 1) 越冬した成虫・幼虫が5月以降の発生源になるため、発生ほ場ではマシン油乳剤(97%)をハダニ類等の防除も兼ねて3月の発芽前までに散布する。ただし、樹勢の弱い樹への散布は落葉を助長する恐れがあるため、散布を控える。
- 2) 薬液がかかりにくい樹冠の頂部や裾部、枝葉の混み合った部分に発生が多いため、薬剤が樹冠全体に十分にかかるよう散布する。
- 3) 5月以降に幼虫が発生するため、定期的にはほ場を見回り、介殻の発生が多い場合は薬剤による防除を行う。
- 4) 中晩柑で発生が多い傾向があるため、特に注意する。
- 5) 防除薬剤は最新の登録情報(農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>)を参照し、適正に使用する。



写真 枝、葉、果実のアカマルカイガラムシ

担当：農作物病害虫防除所 有田川駐在
電話：0737(52)4320